

法政大学世界史 2月9日

I：古代ギリシア世界とペルシア戦争とヘレニズム時代

次はローマ世界ですね。気を付けましょう！ 空所補充は易しいけど正誤がね。

エヴァンズとヴェントリス（考古学には要注意）、ニカイア（イズニクのことね、ギリシア植民市）、デルフォイはアポロン神殿、オストラシズムは5世紀末に廃止、アテネは外国人にも参政権はない、ヘレニズムの自然科学

II：イスタンブルとオスマン帝国史

完全に流行に乗った問題で、イスタンブルはスライド出題。またコソヴォが出ましたね。トプカプ宮殿、モハーチの戦い、カルロヴィッツ条約、チューリップ時代、アーヤーン（地方有力者）、デウシルメ制（ティマール制と比較）、カーディー（裁判官）、ワッハーブ派は流行、トルコ＝イギリス通商条約（1838年）

II：中国系の移民の歴史

明清の対外政策（鄭和・遷界令・乾隆帝の鎖国）、苦力（クーリーは中国人とインド人）、奴隷貿易・奴隷制の廃止（年代）、アイルランド移民、華人排斥法（1882）、海峡植民地（直轄は1867年）とマレー連合州、南京条約・天津条約・北京条約の内容、威海衛と青島、ウラービー運動、満鉄（長春～大連）、外モンゴル（1913年：露中宣言で中国の宗主権は認める）

***カスっている単元や用語は他の学部で詳しく出題され難可能性あり！弱いところは再チェック！**